

こんばんは。北大生協学生委員会です！

夏休みも終わってしまいましたね。ここからどのように生活していくかが今後の命運を分けることになるでしょう。

さて、今回お届けする内容は「夏休み明け 勉強の進め方、切り替え方」です。

---

## ■□■夏休み明け 勉強の進め方

---

夏休みの勉強、上手くいった人も上手くいかなかった人もいます。上手くいった人はこの調子で、上手くいかなかった人は気持ちを切り替えて、また2学期から頑張っていきましょう！ここでは夏休み明けからの勉強の進め方のポイントをいくつかご紹介します。よかったら参考にしてください。

### 1. 共通テストを見据えた勉強

夏休みが終わるといよいよ共通テストが近づいてきます。2学期以降は共通テストを見据えた勉強をしていきましょう。特に、文系の理科、理系の社会のように普段の勉強ではおろそかにしてしまいがちな科目もサボってはいられません。過去問や予想問題を解いてみて、今の自分に何が足りていないかを把握し、今後の勉強に繋げていきましょう。苦手分野はまだ時間のある2学期中に克服しておくのがおすすめです。また共通テストはとにかく慣れがものを言います。今のうちから問題形式に慣れておけば直前期の焦りも少なくなるはずです。

### 2. 学校の授業を大切に

夏休みが終わり学校が始まると、学校の勉強が自分のやりたい勉強の邪魔になると感じるが増えてくるかもしれません。学校では、既に自分で学習した範囲や基礎事項ではなく、自分の苦手分野や応用問題の勉強をしたい！という気持ち、すごくわかります。しかし学校の授業をおろそかにしてはいけません。自分ではわかっていたつもりの内容も、学校の授業で先生の説明を聞くことで、誤解が解けたり、より理解が深まったり、記憶に残りやすくなったり、ということも意外と少なくないのです。授業中に別の勉強をするのは効率のいい勉強法とはいえません。家で自分のやりたい勉強をするために、学校の授業中に予習復習を終わらせてしまえば、自習と学校の勉強を両立でき一石二鳥になります。特にこれから新しい範囲を学習していく理社の授業では、習ったことはその場で覚えてしまうくらいの気持ちで取り組んでいきましょう。学校の授業で提供される内容は、基本的に受験生のためのものです。学校の授業を上手く活用してより効果的に勉強しましょう！

### 3. 志望校を意識した勉強

2学期に入ると冠模試や過去問演習など志望校の問題と触れる機会も増えてくると思います。2学期以降は志望校の出題傾向も意識して勉強を進めていくのもポイントです。例えば、受験で使う科目が選択できる場合は、この時期には受験科目を決め、その科目にはより力をいれて2次試験対策をしていく必要があります。また、入試問題の傾向や分析を読み、出題範囲や頻出範囲をおさえることも大切です。ただ全範囲を漠然と勉強するのではなく、志望校の出題傾向に合わせた勉強をすることで、より効率的な勉強ができるというだけでなく、モチベーションアップにも繋がるはずです。

---

夏休みも明けて学校が始まったと思いますが、皆さんはいかがお過ごしでしょうか？夏休み明けの勉強は、今までの夏休み型勉強から切り替えるべきものがいくつかあります。このパートでは、夏休みに行っていた勉強方法を2学期以降向けに切り替える際、大事なことを3つほど教えていこうと思います。各々の実情に合わせて適切なものをお使いください。それではどうぞ。

## 1. 早く寝て、早く起きる

先ほど記載しましたが、夏休みは学校がないためにいつまでも勉強できます。特に、夜型の人の中には、昼頃に起きて深夜・早朝まで勉強したなんて人もいるでしょう。しかし、学校が始まると当然ながら昼頃には起きられません。しかし、勉強時間の確保のために遅くまで勉強をしなければなりません。結果的に睡眠を削って寝不足…。なんてループを起こしてはいけません。起こしているのならばすぐに断ち切りましょう。遅くとも日付が変わる前に寝てください。夜中の勉強時間が欲しいのならその分朝早くに起きましょう。切り替えて数週間程度は苦しいかもしれませんが、人間慣れる生き物ですので続けていけば問題はありません。

## 2. 成績が伸びたのなら、少しずつ基礎から応用へ

夏休み、多くの方は基礎固めを行ってきたと思います。そして夏休み明けの模試でその成果を発揮できた人もいると思います。このような人は所謂、「順調に勉強できている人」ですね。基礎はある程度固まったという人たちになります。その場合、次にやることは応用です。大学入試は問われたこと全てに答えることが目的ではありません。あくまで、他人よりも多くの点数を稼ぐことにあります。他人と差をつける必要が

あるのです。さて、それでは他人とはどこで差をつけるのか。それが、「難しすぎない応用問題」です。このような問題は今まで身に着けた基礎知識を組み合わせて活用することで解けるようになっていきます。そのような問題は、実戦を重ねることでしか耐性を得ることができないので、応用問題で得点を稼ぐにはとにかく解くことが肝要となります。そのため、基礎固めが終わった段階で実戦経験を積みましょう。但し、あくまで基礎が固まっている人限定です。応用問題で必要とされるスキルは前述のとおり、基礎知識の使い方になります。戦いで例えるなら武器の効果的な使い方です。そもそも武器を持っていない人には何ら意味がないのです。武器となる基礎知識を持たない人はまず、基礎固めをしっかりしましょう。その成果を確認できてはじめて応用問題へと駒を進めることができるのです。

### 3. 2学期も基本は英・数・国、けれど少しずつ理・社もやる

2学期になって、理科社会に重点を置きすぎる人がいると思います。不安な気持ちは分かりますが、少し待ってください。2学期に入っても力を入れるべき点はそこまで変わりません。まずは、英・数・国に重点を置きましょう。この3教科は、かけた時間こそが実力につながる教科です。言い換えれば、逆転の起こりにくい教科になります。英・数・国に時間をかけることは、上位との差を縮め、下位との差を広げることを意味します。そのため、2学期に入っても重点を置くのはこの3教科にしてください。しかし、3教科だけに力を入れてもいけません。少しずついいので、理科社会にも取り組みましょう。特に二次試験で使う教科ならばこの時期から復習を始めましょう。理科社会は短期間で高得点が出やすい教科ですが、早く復習できた方がより安全ですし、何より気が楽です。そのため、メインを英・数・国、サブを理・社として勉強することをお勧めします。

いかがだったでしょうか。皆さんの勉強プランに役立ちそうなものはありましたか？ぜひこれらのアドバイスを参考にして、2学期以降の勉

強を有意義なものにしていただきたいと思います。受験勉強はここからの頑張りが大事です。2学期の頑張りが皆さんの成功の礎となることを期待していますよ。それでは、グッドラック。

#### ■□■今日の写真……………

<https://drive.google.com/file/d/1c0e0Lb6I38kVtrDd3Air623EBKTuQDsJ/view?usp=sharing>

#### ■□■今日の問題……………

今日の問題は、「漢字（書き取り）」です。

漢字の問題を落とすことは受験において致命傷となります。一方、漢字の勉強をすることは非効率と言わざるを得ません。漢字は出くわしたときに覚えるのが一番です。今後もちよくちよく出すので、ここで出た漢字は絶対に忘れないでくださいね。

下線部のカタカナを漢字に直しましょう。

1. 彼は僕にないミリョク をもつ。
2. 宝くじがあたるというケウな体験。
3. コロナの影響でトンザした計画。
4. 娘とシンシに向き合う。
5. ホコリ高き戦士となる。
6. 業績悪化のヘイガイが起こる。
7. マサツを無視できる滑らかな床を発明した。

漢字には読みと書きがありますが、書ける漢字はほぼ全て読めます。  
そのため、書ける漢字を増やすことが漢字攻略の近道となるでしょう。

……………前回の解答

1. 念ず 祈る、我慢する
2. 絶ゆ 途切れる、途絶える
3. おはす いらっしゃる、おいでになる
4. いまそかり いらっしゃる、おいでになる
5. 往ぬ 去る、死ぬ

・ - ・ -

次の配信は「北大1年生の1学期の振り返り」です。お楽しみに！

■□■今週のブログ……………

■□■追伸……………

この時期になると井上陽水の少年時代を思い出します。私の心は夏模様  
～（総文・1・はんな）

今回はウルトラ真面目記事でしたね。そういうわけで、どうでもいいご  
報告をさせていただきます。僕の3DSはたまに突然電源が切れて、2011  
年1月1日(土)0:00にリセットされます。どうして強制的にリセットさん  
に怒られないといけないのでしょうか。（文・1・とま）

---

○バックナンバーはこちらから

<https://hokudai-coop-gi.com/mail/mail.html>

○配信停止はこちらから

[%url/https://out.ouen23stop.com/](https://out.ouen23stop.com/)

○北大生協学生委員会のブログはこちらから

<http://hokudaigi.blog119.fc2.com/?cat=22>

○質問等はこちらまで

北大生協学生組織委員会

[jukensei\\_ouen@coop.hokudai.ac.jp](mailto:jukensei_ouen@coop.hokudai.ac.jp)

---